

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

令和3年4月1日改正
(令和3年4月1日適用)

① 第三者評価機関名

特定非営利活動法人 旅人とたいようの会

② 施設・事業所情報

名称：日野保育園		種別：保育所	
代表者氏名：白木 由貴子		定員	90 名
		(利用人数)：	108 名
所在地： 岐阜県岐阜市日野西3丁目3番地10			
TEL：(058) 245-3801		ホームページ： https://www.funabuse.or.jp	
【施設・事業所の概要】			
開設年月日		平成23年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 舟伏			
職員数	常勤職員：	24 名	非常勤職員
			8 名
専門職員	統括園長	1 名	園長
			1 名
	主任保育士	1 名	保育士
			25 名
	看護師	1 名	調理員
			4 名
施設・設備の概要	(居室数)	(設備等)	
	保育室	6 室	遊戯室 給食室 園庭
	事務室	1 室	プール 駐車場
	休憩室	1 室	
	沐浴室	1 室	

③理念・基本方針（※転載）

理念

- ◆子どもの最善の利益を保障します。
- ◆子どもにとって最もふさわしい生活の場を保障します。
- ◆家庭援助や地域における支援を積極的に進めます。

基本方針

- ◆生きる力の基礎を育む保育・教育の推進

- ◆子育て家庭の養育力の向上
- ◆生きる力の基礎を育む保育・教育の推進
- ◆子どもを核としたよりよい地域との連携
- ◆施設運営の質の向上

④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

独自性

十分に養護の行き届いた環境の下で、養護と教育を一体とし、温かい雰囲気の中で一人ひとりの情緒を安定させ、心身の調和をはかりながら「生涯にわたる生きる力」の育成に努めています。

- ◆健康でたくましく活動する子
- ◆友だちと心を通わせながら遊べる子
- ◆自分で考え、やりぬこうとする子
- ◆感性豊かで感動する子
- ◆楽しく食べる子

外国人講師による英語で遊ぼう、幼児体育指導者による体育教室、お話広場にどの子も生き生きと参加できることを目指し4つを特色としている。

◎保育士に期待すること（保育士に持って欲しい使命感）

「一人ひとりの子どもにむける愛情を持つ保育」を目指しています。
常に子どもの生活や遊びを共にする中で倫理感に裏付けられた専門的知識、技術及び判断をもって、子どもの保育と保護者の支援指導をしてほしいと願う。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年6月12日（契約日）～ 令和6年3月11日（評価結果確定日）
受審回数 （前回の受審時期）	2回 （平成30年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

- ・社会福祉法人舟伏の一施設である日野保育園は、病院や障がい者福祉施設と共に唯一の保育園として存在している。日野保育園は、常に理事長、副理事長の温かい眼差しを受けており、その支えによって運営されている。
- ・自己評価や第三者評価を通じて、日野保育園は改善に向けた取り組みを積極的に

行っており、これらの評価から多くの気づきを得ており、改善への動きが感じられる。

〈安全で快適な環境の提供〉

- ・子どもたちが安心して過ごせるよう安全な施設と環境を整えている。また、清潔さや快適さにも配慮し、子ども達が健やかに過ごせる環境を提供している。

〈個別の養護と教育〉

- ・子ども達一人ひとりの個別の特性や発達段階に合わせた養護と教育を行なっている。保育士は子ども達の個々の思いを受容し寄り添いながら適切な支援をしている。

〈家庭との連携〉

- ・保護者とのコミュニケーションも重視しており、保護者との密な連携を通じて子ども達の成長や日常の様子を共有し、子育て支援を行っている。保護者の意見や要望にも真摯に耳を傾け保育の質の向上に努めている。

〈地域のつながり〉

- ・地域との連携を大切にし、地域の行事やイベントへの参加、地域のボランティアとの関わりなどを通じて子ども達が地域とのつながりを持ち、社会性を育む機会にしている。

〈職員の働きやすい職場作り〉

- ・厳しい労働環境が指摘される保育士の働き方の見直しから、事務のデジタル化(保育室のタブレットに保護者が出欠を直接打ち込む。連絡や行事、園だよりにルクミーを利用、ブログで園の様子を発信)

保育補助員を採用・放課後の室内掃除にシルバー人材を利用・ノンコンタクトタイムを導入し、保育士の労働の負担軽減を図ることによって職員の心の余裕が生まれ保育の質向上を図り、しいては働きやすい職場づくりに繋がっている。

- ・BCP(災害時事業継続計画)は保育園では義務になっていないが、法人全体のBCPの中に保育分門として構築されている。各地で自然災害や大規模火災が増加している事を鑑み保育園としてのBCP(災害時事業継続計画)の見直しを強化している。

これらの運営方針に基づいて、日野保育園は子ども達の健やかな成長と発達を支援している。

◇改善を求められる点

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

- ・今回第三者評価を受けるにあたり、何度も職員同士の話し合いの場を持ち、保育を振り返り、見直し、改善することで、職員の意識向上に努めることが出来てとても良かった。
- ・環境（人的、物的環境）など良い点もたくさん見つけてもらえたことで仕事に対する意欲をさらに強めることが出来た。子ども一人一人を十分愛し、さらに保護者支援にも力を入れていくよう今後もさらに努力していきたい。
- ・今回の機会を経験したことで、保育の向上、職員の資質向上にもつながった。又働きやすい職場の改善にもなった。
- ・職員自ら、問題点を見つけることが出来、さらに質の向上にもつなげていけるよう職員間の連携を今後もしっかりとって進めていきたい。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。